長岡技術科学大学における研究設備・機器の共用方針

令和6年9月4日

学長裁定

国立大学法人長岡技術科学大学（以下「本学」という。）は技学－技術科学－に関する実践的・創造的能力の啓発、それによる“独創力の増強”を教育研究の基本理念とし、イノベーション創出を担う実践的・創造的能力と持続可能な社会の実現に貢献する志を備えた指導的技術者を養成し、地域社会及びグローバル社会に不可欠な大学となることを目標としている。

この目標を達成するため、研究基盤の充実を目指し、計画的かつ継続的に研究設備・機器を充実・強化するとともに、本学における「研究設備・機器共用方針」を以下のように定め、研究設備・機器の共用化を推進する。

1. 学内の研究設備・機器を大学全体の重要な経営資源の一つとして捉え、本学の将来ビジョン、中期目標・中期計画の実現に向けて、これらを充実・強化し、学内外とのリモート化・共用化を推進する。
2. 国際産学連携機構を中核として、研究設備・機器の共用システムの構成・運営体制を整備し、関係部局と連携して運用する。
3. 研究設備・機器の整備は、多様な財源を活用して、自立した運営体制を目指す。また、維持管理費等の経費は原則として利用者による負担とする。
4. 研究設備・機器の高度利用化に向けて、高度で専門的な知識と技術を有した教員及び技術職員等を配置するとともに、人材育成にも取り組む。
5. 研究設備・機器のリモート化・共用化を学外にも発展させて、外部研究機関や民間企業との共同研究を推進し、イノベーションの創出に貢献する。